

授業概要

教育相談においては、幼児児童またはその保護者との個別の相談活動に限定することなく、彼らと接するあらゆる機会を捉え、あらゆる教育活動のなかで、教育相談的配慮をすることが大切となる。そのために、カウンセリングの基礎を理解し、実践のための技法を習得すること、幼児児童の発達段階における特性を理解し支援のあり方をまなぶことを目的に講義します。

授業計画

第1回	ガイダンス
第2回	教育相談と生徒指導
第3回	カウンセリングの基礎理論
第4回	教育相談に活かすカウンセリングの基本 ～傾聴（演習）～
第5回	教育相談に活かすカウンセリングの基本 ～リフレーミング（演習）～
第6回	教員の相談と心理職の相談
第7回	保護者との相談で留意点
第8回	幼児期の課題：分離不安
第9回	幼児期の課題：発達の個人差
第10回	児童期の問題：いじめ問題の理解と対応
第11回	クラス運営に活かす構成的グループエンカウンター（演習）
第12回	児童期の問題：不登校の理解と対応
第13回	発達障害の基礎理解
第14回	特別支援教育の実際とユニバーサルデザイン教育
第15回	校内連携と地域資源との協働
第16回	筆記試験

到達目標

- ・カウンセリング・マインドを身につけること
- ・よくある相談内容について、教員ならではの対応の基本を理解すること
- ・学んだことを、実践に活かせること

履修上の注意

- ・ロールプレイやグループワークを取り入れるため、毎回出席の上、積極的に取り組むこと
- ・毎回プリントを配布するので、専用のファイルを作り保管すること（提出を求めることもある）
- ・出欠は、毎時確認する。遅刻扱いは、授業開始後30分以内。遅刻3回で欠席1回とする。

予習復習

予習の必要はないが、復習課題は必ず実施すること

評価方法

定期試験（50%）提出物（20%）受講態度（30%）として、総合的に評価する。

テキスト

必要に応じて参考文献を紹介する。